

2018年12月期 通期決算説明会



STOCK CODE : 6180

代表取締役社長 森 輝幸

常務取締役 石橋 正剛

2019年2月8日

- 1. ハイライト**
- 2. 通期決算概要**
- 3. 第4四半期決算概要**
- 4. メディア事業重点戦略**
- 5. 業績予想**
- 6. 配当予想**
- 7. Appendix**

1. ハイライト

売上高と営業利益の推移

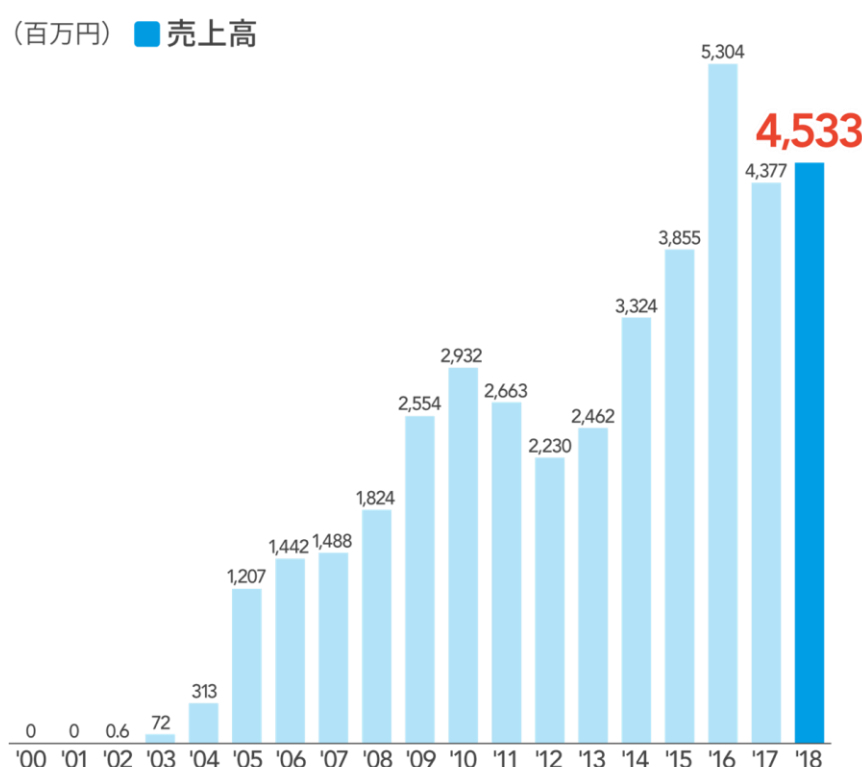
増収減益。

原価率の低いソーシャルメディア系事業の売上減と、新規サービスへの投資継続。

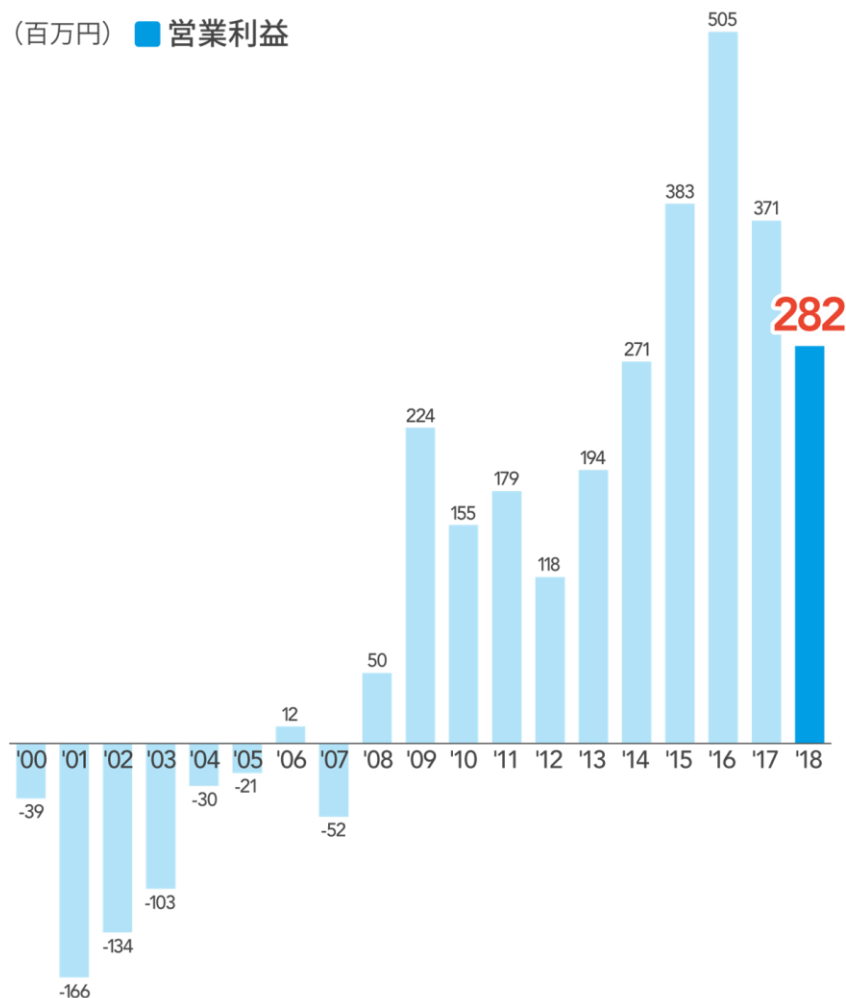
売上高 4,533百万円（前年同期比+3.5%）

営業利益 282百万円（前年同期比▲23.8%）

（百万円） ■ 売上高



（百万円） ■ 営業利益



2 .通期決算概要

予想対比

売上高は成長するも、売上高・営業利益とも開示予想に届かず。
原価率の低いソーシャルメディア系の売上減少が、利益減に影響。

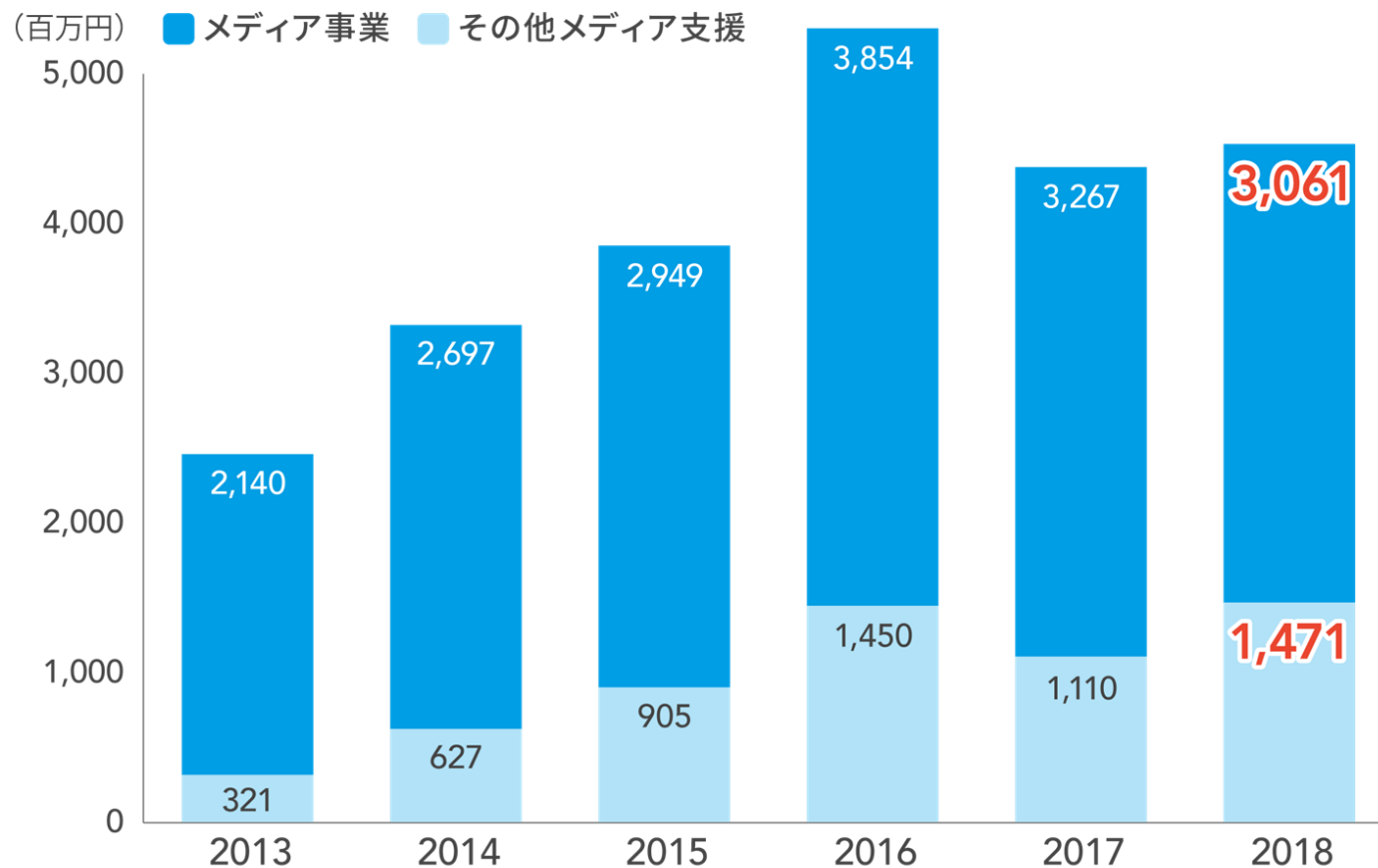
単位：百万円	2017年通期	2018年通期予想	実績	前年比
売上高	4,377	4,700	4,533	+3.5%
営業利益	371	372	282	▲23.8%
経常利益	368	368	281	▲23.5%
最終利益	252	252	197	▲21.7%

*増減表示は表示桁数未満を考慮して計算しておりますので、上記の値で計算した場合と差異がございます。

セグメント別売上高

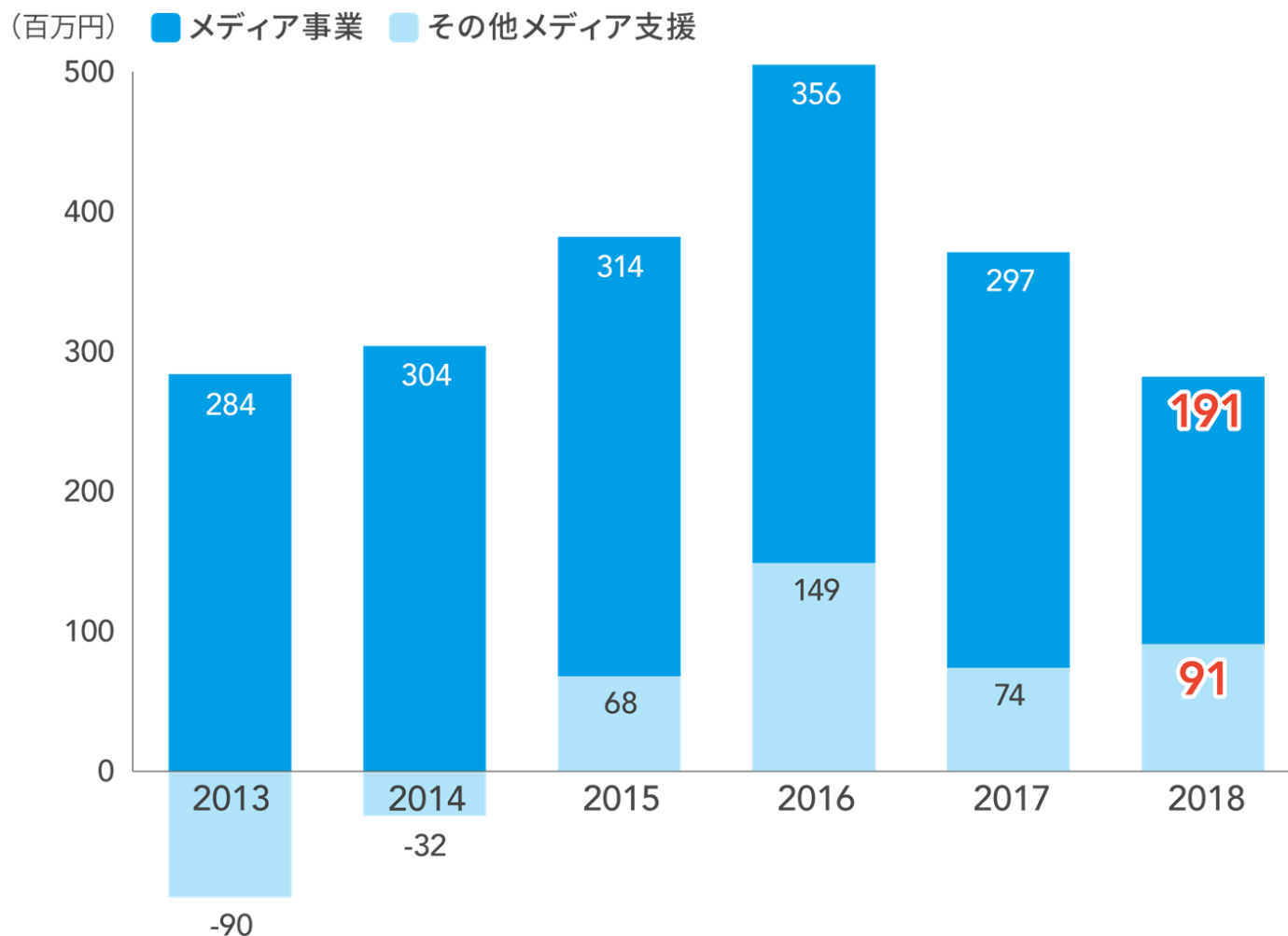
メディア事業) 昨年 2 QのADネットワークレギュレーション変更影響により
対前年比▲93.7%

その他メディア支援事業) 上期の大型案件が貢献



セグメント別営業利益

メディア事業) ソーシャルメディア系売上の減少に伴い営業利益率の低下。
今後の成長へ向けた新規サービス開発への投資継続。



貸借対照表

単位：百万円	2017年12月末	2018年12月末	前年同期比	増減要因
流動資産	3,540	3,556	+0.4%	現金預金+97百万 営業債権▲114百万 繰延税金資産+10百万
うち現金預金 関係会社預け金含む	2,424	2,522	+4.0%	
固定資産	305	289	▲5.0%	リース資産▲60百万 投資有価証券+74百万
総資産	3,845	3,846	+0.0%	
流動負債	1,322	1,308	▲1.0%	営業債務▲45百万 ポイント引当金+29百万
うちポイント 引当金	508	538	+5.8%	
固定負債	101	50	▲50.0%	リース負債▲50百万
純資産	2,421	2,487	+2.7%	利益剰余金+70百万
純資産比率	63.0%	64.7%	+1.7pt	
負債及び純資産	3,845	3,846	+0.0%	

*増減表示は表示桁数未満を考慮して計算しておりますので、上記の値で計算した場合と差異がございます。

キャッシュフロー計算書

営業キャッシュフローの増加に伴い、キャッシュポジションは微増。

単位：百万円	2017年12月末	2018年12月末	前年同期比	増減要因
営業活動による キャッシュフロー	328	380	+52	【営業CF】 税引前当期純利益の減少 61百万 法人税等の支払額の減少 186百万
投資活動による キャッシュフロー	▲38	▲93	▲54	
財務活動による キャッシュフロー	▲237	▲189	+47	【投資活動CF】 投資有価証券取得による 支出75百万 貸付金回収による収入 15百万
現金及び現金 同等物の増減額	52	97	+45	
現金及び現金 同等物の期首残高	2,372	2,424	+52	【財務活動CF】 配当金支払額の減少 33百万
現金及び現金 同等物の期末残高	2,424	2,522	+97	

*増減表示は表示桁数未満を考慮して計算しておりますので、上記の値で計算した場合と差異がございます。

3 .第4四半期決算概要

損益計算書

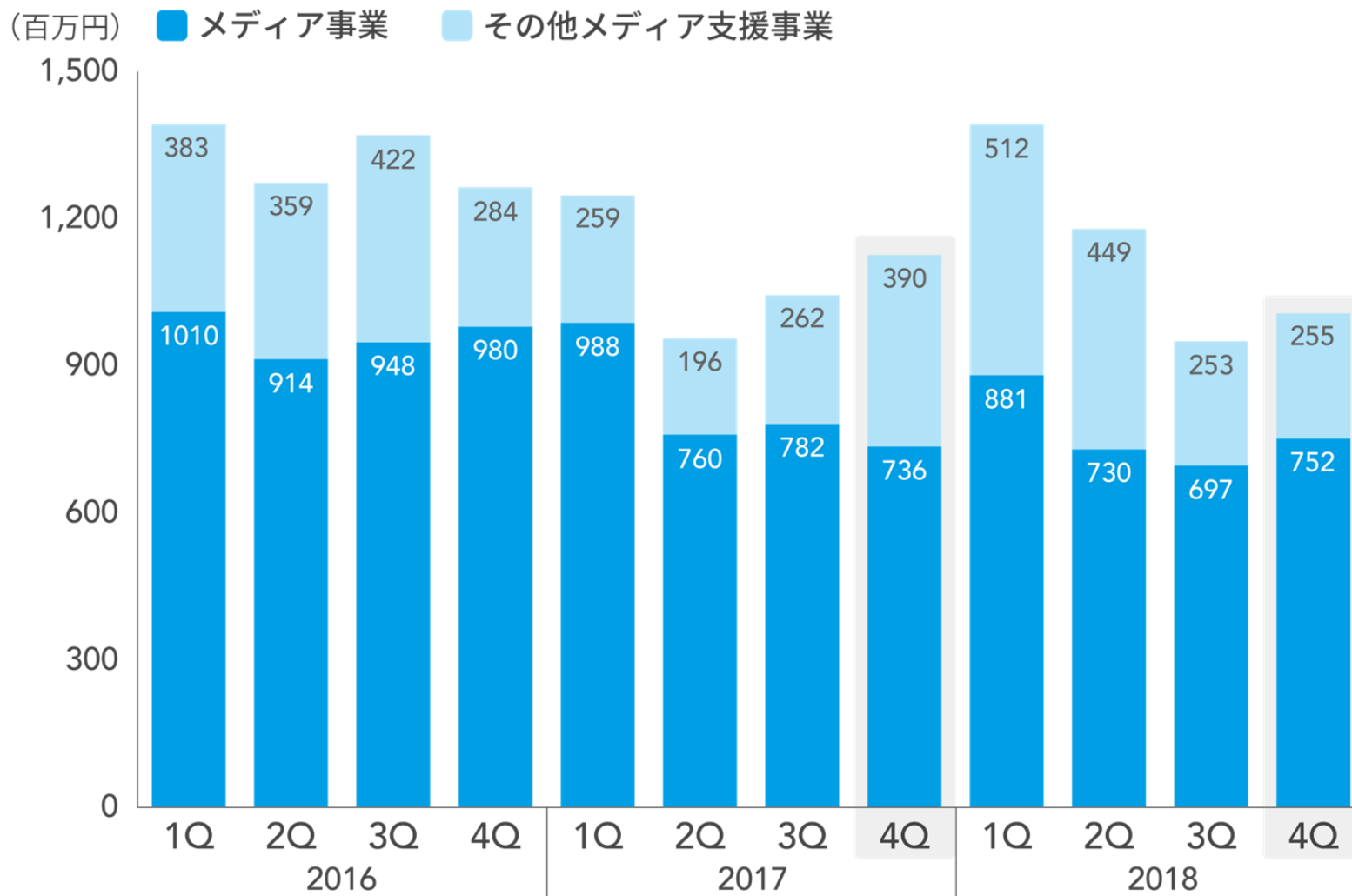
メディア事業売上高が前年同期比成長するも、その他メディア支援事業が大きく減少

単位：百万円	2017年10-12月	2018年7-9月	2018年10-12月	前年同期比	増減要因
売上高	1,127	950	1,008	▲10.5%	【売上高】 メディア事業 +16百万円(2.1%増) その他メディア支援事業 ▲135百万円(34.6%減)
売上原価	756	628	681	▲9.9%	
売上総利益	370	321	326	▲11.7%	【営業費用】 売上変動費（収益シェア） メディア事業 +41百万円(58.6%増) その他メディア支援事業 ▲98百万円(31.8%減)
販売費及び一般管理費	295	272	288	▲2.5%	
営業利益	74	48	38	▲48.4%	販売促進費 （主にポイント費用） ▲5百万円 人件費▲9百万円 広告費+2百万円 その他経費▲12百万円
営業利益率	6.6%	5.1%	3.8%	▲2.8pt	
経常利益	73	48	38	▲48.4%	
当期純利益	51	34	29	▲44.1%	

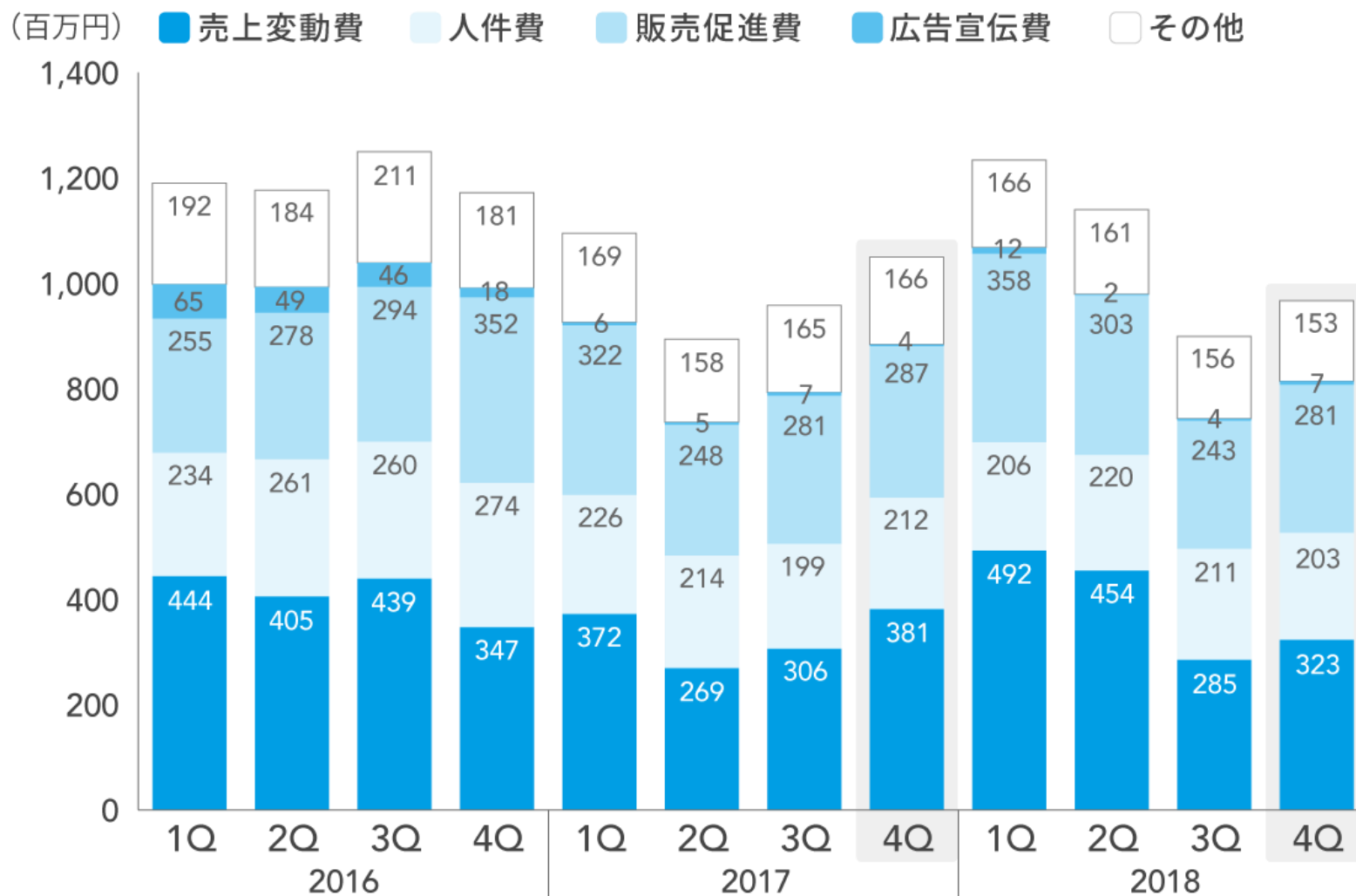
*増減表示は表示桁数未満を考慮して計算しておりますので、上記の値で計算した場合と差異がございます。

セグメント別売上高推移

メディア事業) ポイントメディア・ゲーム課金成長により前年同期比+2.1%
その他メディア支援事業) 前年同期比▲65.4% (前年度は大型案件アリ)

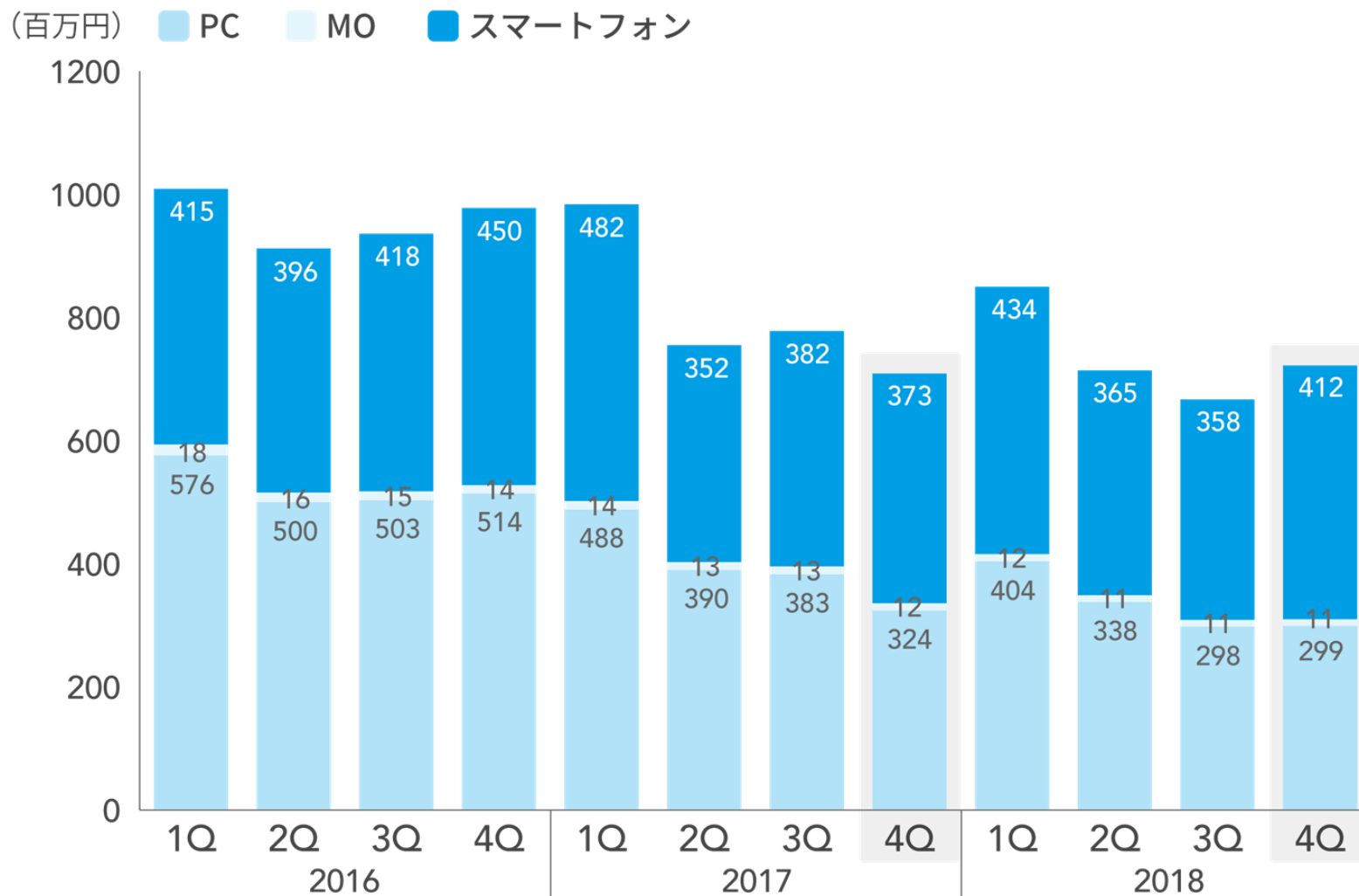


ポイントメディアにおける売上変動費（ポイントコスト）が前年同期比減。



メディア事業 デバイス別売上推移

スマートフォン経由の拡大が、PC経由の減少を補い前年同期比・前期比とも成長



*メディア事業の売上高のうち、デバイス集計に適さないものは除外しております。

4.メディア事業取組み状況

アフィリエイト 広告

ポイントタウン

- ・アクティブユーザーは順調に推移したものの単価の下落が利益に影響
- ・コンテンツ面では「楽天スーパーポイント」との連携が進む

ポイントメディア提携パートナー

- ・dポイントユーザーに向けたポイントサイト「ポイント広場」のユーザーが100万人を突破（2018年10月）

ブラウザサービス

ゲソてん

- ・スマートフォン版を開始（2018年4月）
- ・オリジナルゲーム「最強プロ野球」もスタート（2018年6月）
- ・「Pontaゲームス "Pro"」などの外部連携も進む

プリ小説

- ・引き続きサービス開発強化。PVは12月末で前年同月比4.3倍に。

新規メディア

コエテコ（教育系ヴァーティカルポータル）

- ・プログラミングスクールとの連携を強化し、ポータルサイトへの掲載数を増やす
- ・スクールへの送客テスト開始（2018年8月）
- ・小学生向けのプログラミング教室掲載数が業界No.1に（2019年1月）

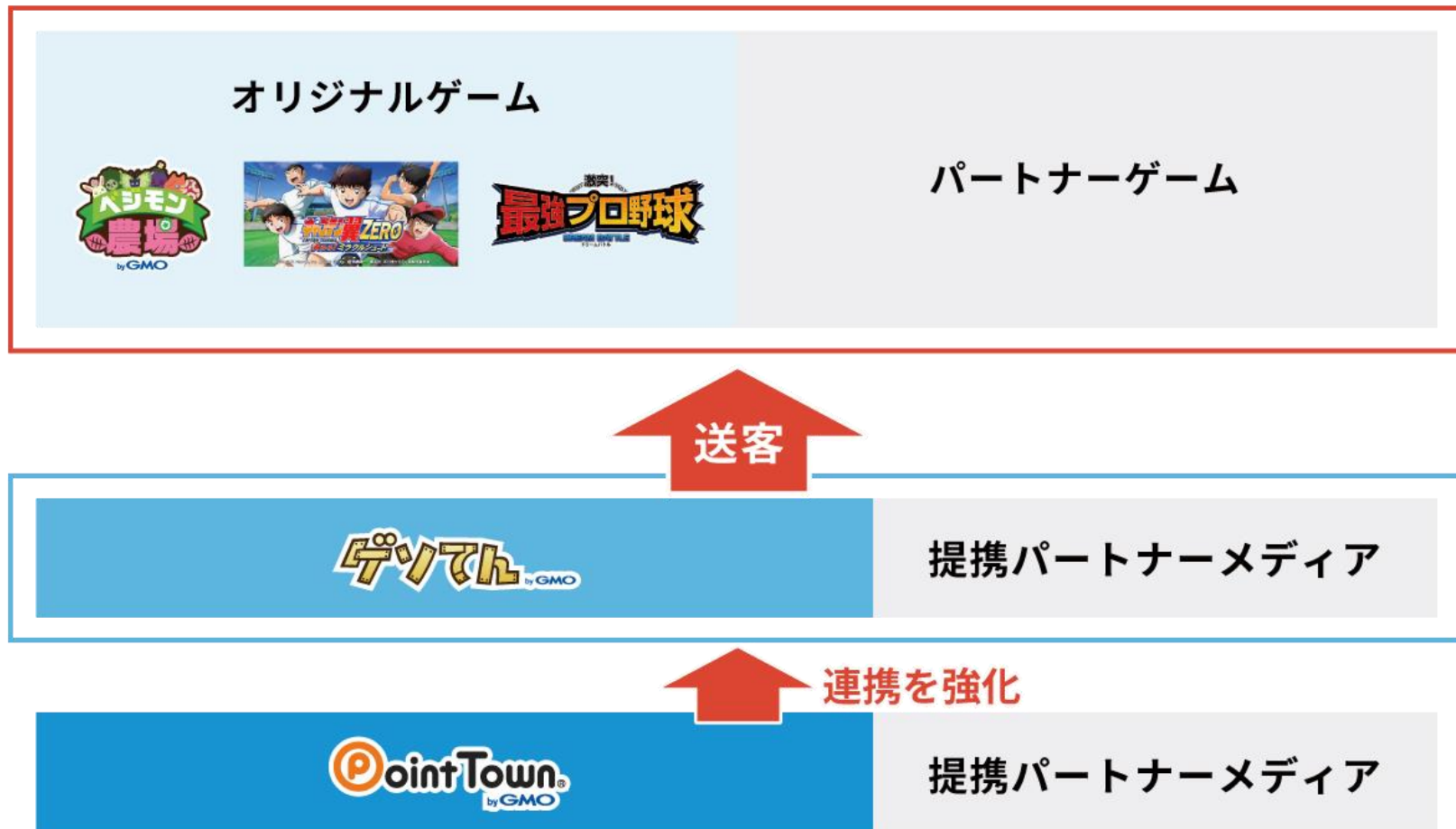
2018年に掲げた方針は変わらず。メディア間のシナジーと他社連携で売上の最大化を目指し、新規事業においては「コエテコ」「プリ小説」に投資継続。

メディアシナジー強化（エコシステム）

パートナー戦略

新規事業への投資を継続

ECメディアにおいてはポイントタウン・ゲソてん間の連携を強めるとともに他社展開を積極的に行い、ユーザー基盤を拡大させることによりECメディア全体で売上を最大化する。**エコシステム**の最大化。



ポイントタウンとゲソてんのシナジーについて

ポイントタウンからゲソてんへの送客を継続し、
ユーザーあたりの生涯価値（LTV）を上げていく



ゲソてん内に、ポイントタウンと連携して
ポイントタウンポイントが貯まるコンテンツを掲載



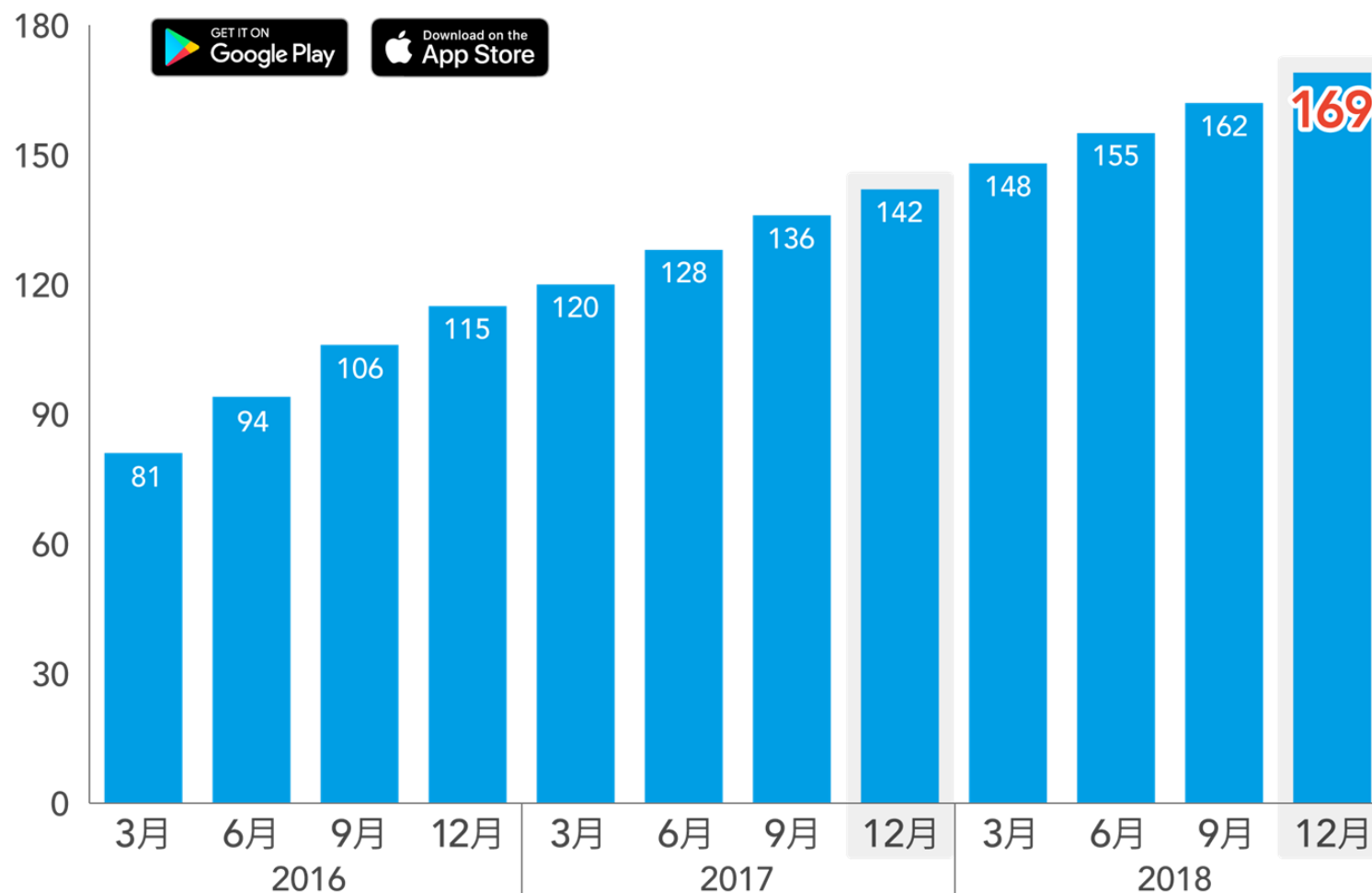
ポイントタウン×ネイティブアプリ

●ポイントタウンアプリDL数

ネイティブアプリ継続強化。前年同月比+19%。堅調に推移。

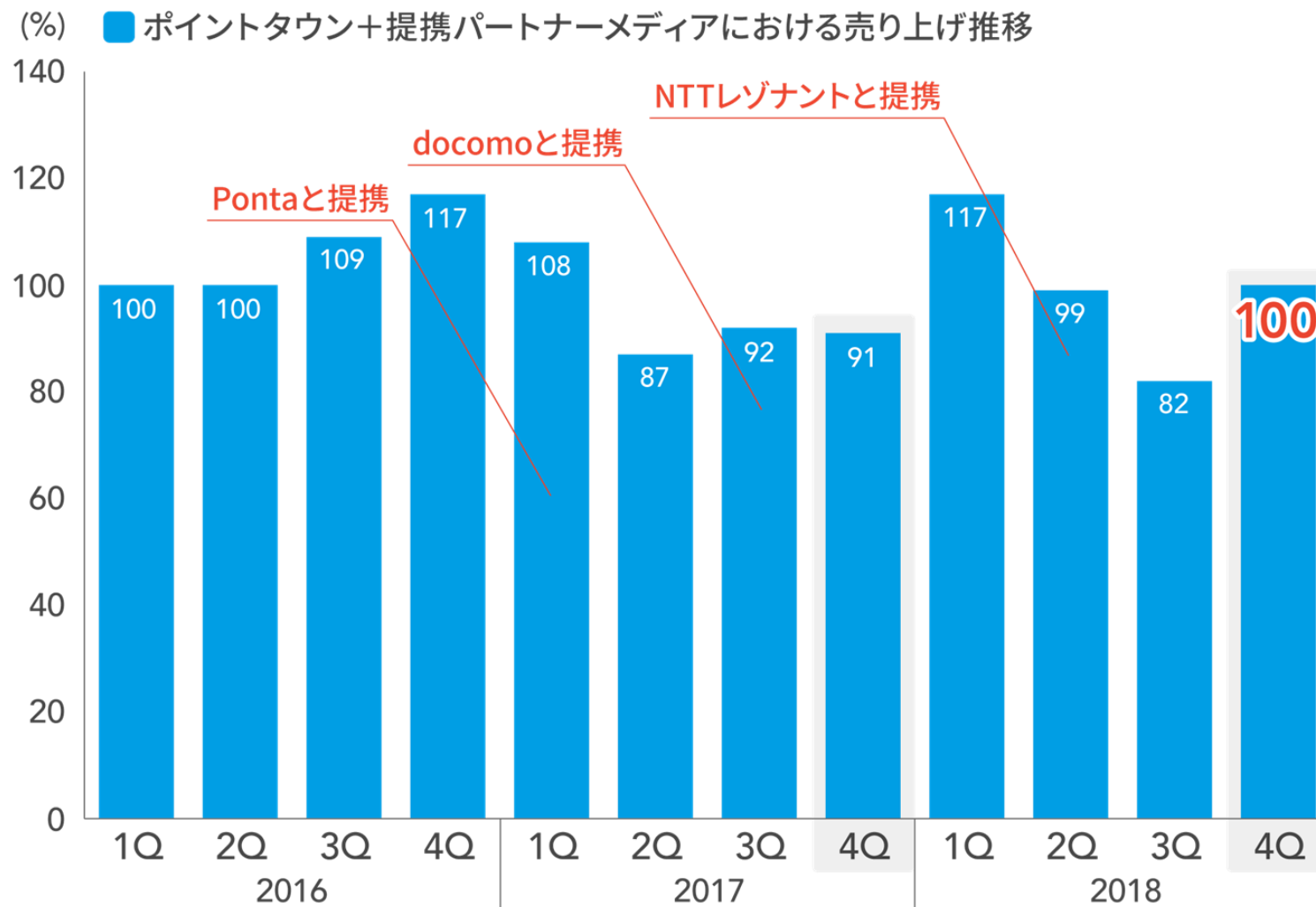


(万) ポイントタウンアプリダウンロード数の推移



●ポイントメディア売上推移

パートナーメディアの増加も貢献し前年同期比・前期比とも拡大



*2016年1Qを100として比較

読売新聞オンラインにシステムを提供

GMO MEDIA

読売新聞オンラインの「よみぽランド」に
自社開発のポイントCRMを提供、2月1日より提供開始

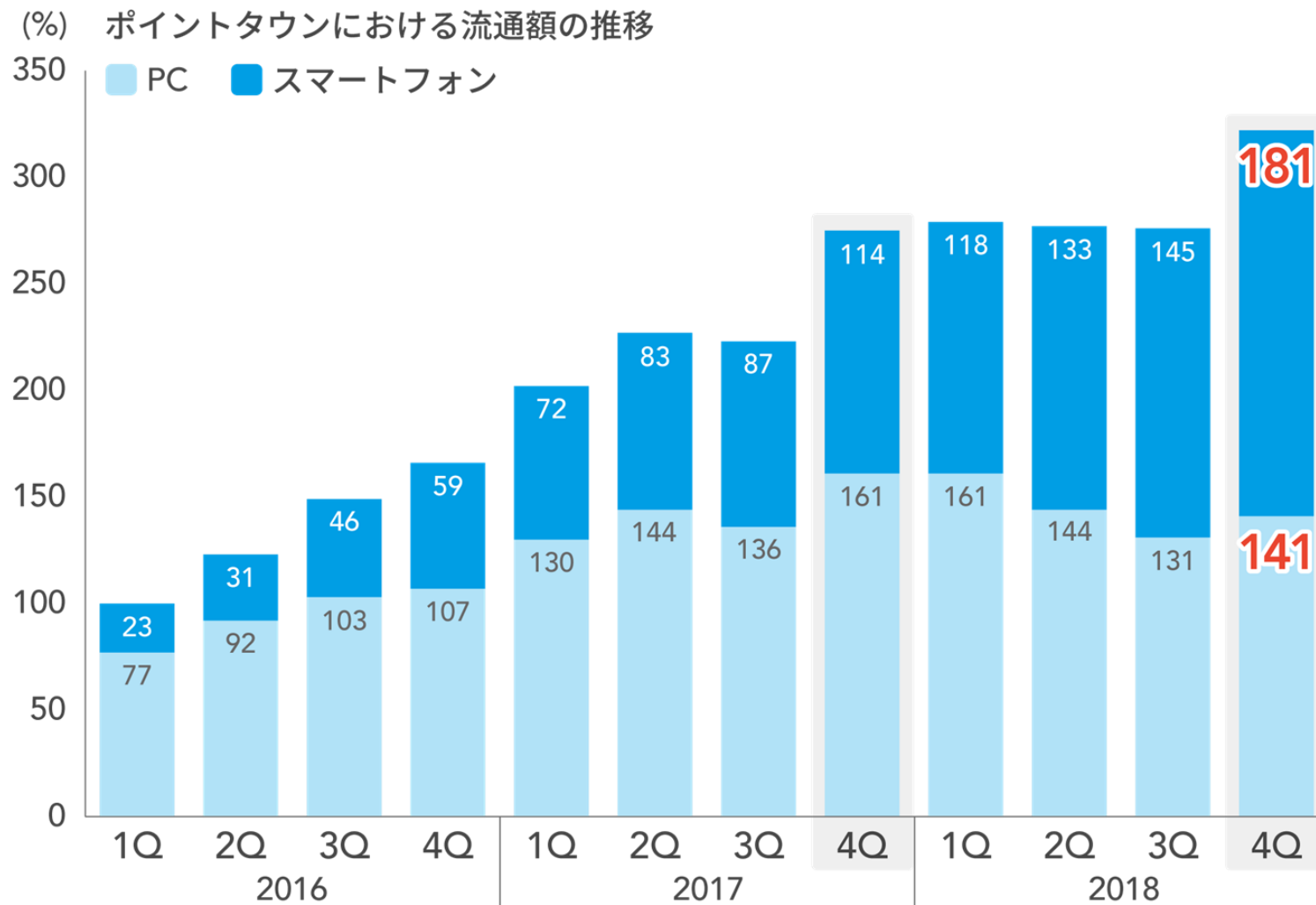
PointTown[®]
by GMO



ポイントタウン経由のEC流通額

●ポイントタウン経由流通額推移

昨年同様、季節要因を取り込み、拡大。引き続きスマホに注力



*2016年1Qを100として比較

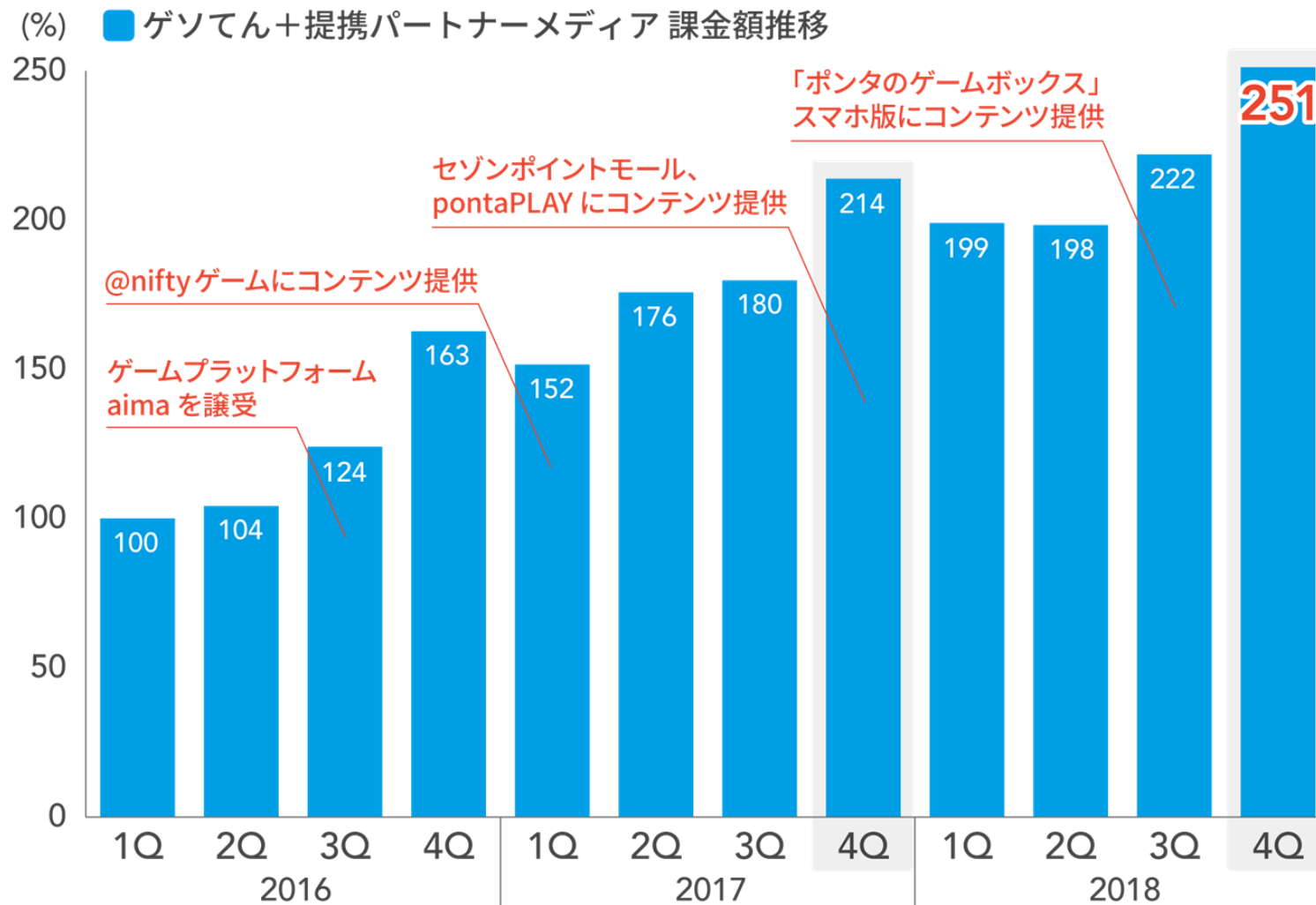
提携メディア数は19。今後も随時提携媒体を増やしていく計画。
＜ゲームタイトル数×展開メディア数＞で、成長の加速を目指す。



ゲソてん×提携パートナーメディア課金金額



他社連携＋オリジナルゲームの外部提供といった施策を進め
課金額は順調に成長、12月の需要期も取り込み前年同Q比で+17%。



*2016年1Qを100として比較

HTML5ゲームをリリース予定

2019年もHTML5ゲームのタイトルをリリースしていきます



2019年3月 リリース予定

大ヒット漫画「キャプテン翼」のスマートフォンアプリ『キャプテン翼 ZERO～決める！ミラクルシュート～』がHTML5版になって登場。
2019年3月リリース予定！

キャプテン翼ZERO～決める！ミラクルシュート～



2019年年内 リリース予定

2010年にスタートし、今年9周年目を迎えるPCブラウザゲーム『ベジモン農場』
SP/PC両対応・パズル、育成要素を新たに加えた「どこでも」遊べる新たなベジモンを企画開発中。

どこでも ベジモン農場 (仮題)

ヴァーティカルポータル事業への投資継続

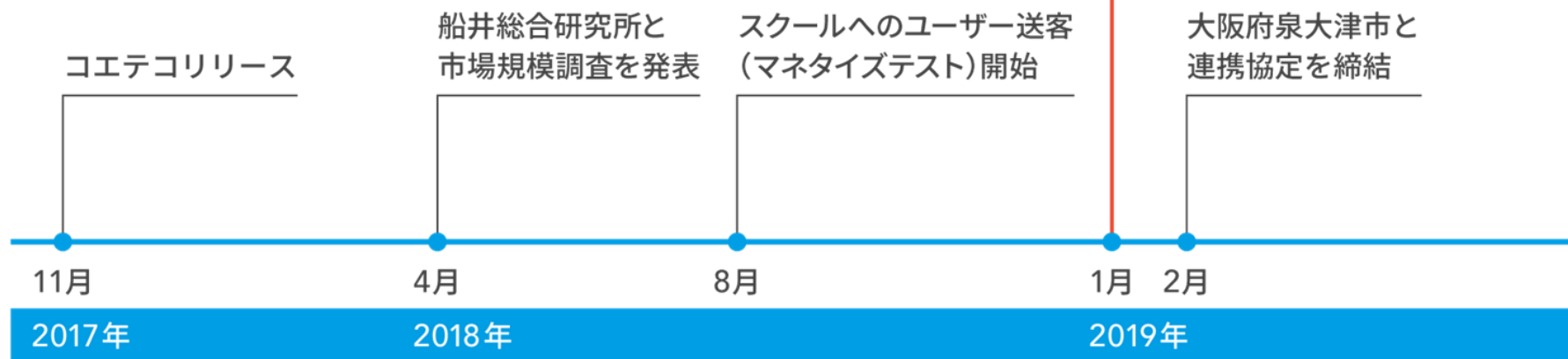
GMO MEDIA

2017年11月に開始したプログラミング教育ポータルサイト「コエテコ」

コエテコ
by GMO



小学生向けのプログラミング教室
掲載数 **No.1**に



2020年の小学校へのプログラミング教育必修化を契機とした保護者ニーズの増加に対しての課題解決のため、コエテコをリリース

社会背景

- ・ 2030年にはIT技術者が78.9万人不足*
- ・ 世界的なSTEM教育への潮流
- ↓
- ・ 2020年の小学校へのプログラミング教育の必修化（文部科学省：新学習指導要領）

事業機会

- ・ プログラミング教育の市場拡大
- ・ 保護者のプログラミングスクールへのニーズの増加

課題

インターネット上に保護者が必要としている情報の不足



課題解決

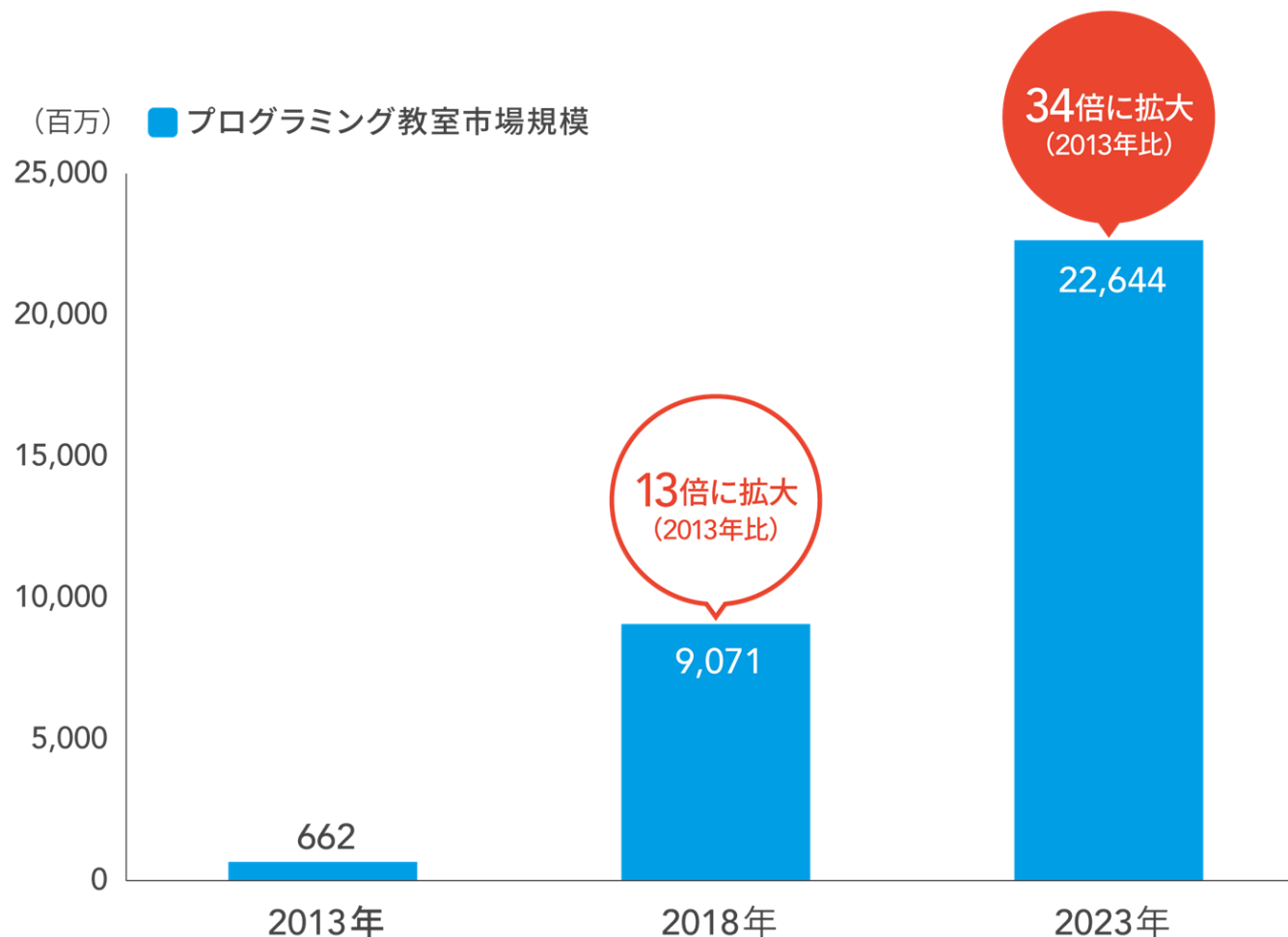
コエテコの参入理由

- ・ IT技術への知見（GMOメディアのエンジニアを含む「創る人」の割合が50%以上）
- ・ メディア事業の運営実績

* 「経済産業省 国内IT人材の最新動向と将来推計に関する調査」より

プログラミング市場規模予測

必修化を背景に市場規模は拡大し、2023年には200億円を突破し
約230億円になると予想



メディア) 自社メディア運営ノウハウを活かしたコラムやインタビュー
教室ポータル) CGM・UGC開発経験からの、教室が使いやすいシステム

Google検索での 上位表示

重点200地域のうち198地域で
「コエテコ」が3位以内に
※2018年12月27日現在

小学生向けの プログラミング教室 掲載数業界No.1

小学生向けの プログラミング ・ ロボット教室に特化

自治体とプログラミング教育の認知拡大で連携 **GMO** MEDIA

泉大津市と「プログラミング教育」の普及で連携協定を締結(2月5日)

コエテコ
by **GMO**



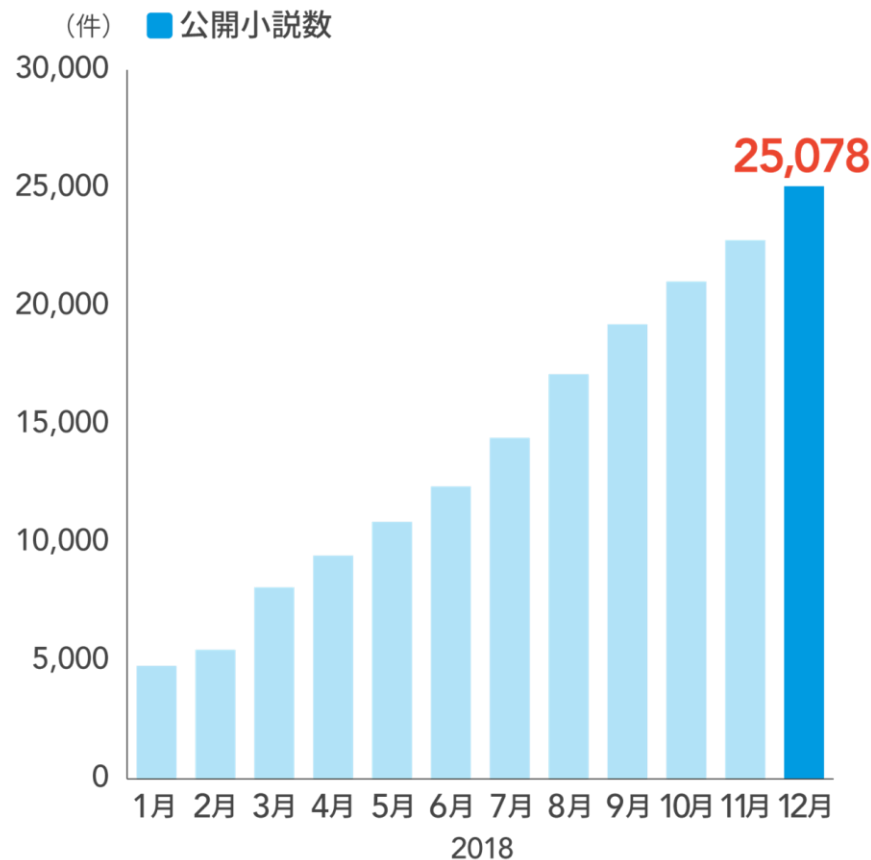
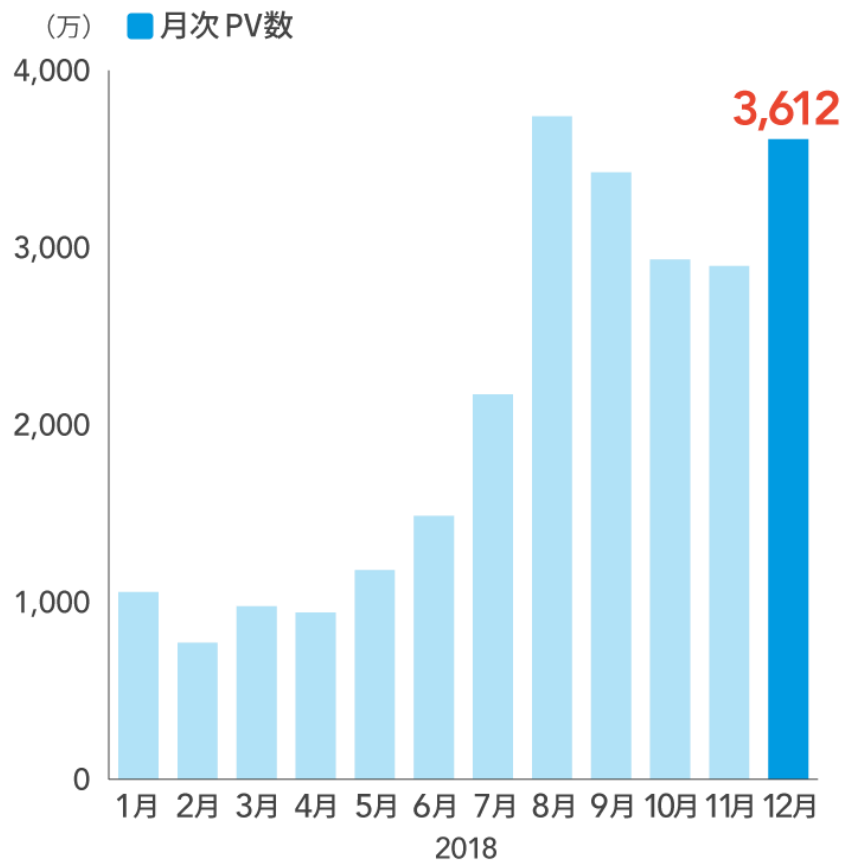
泉大津市のお子さんへ「プログラミング」の機会を提供していく

プリ小説はサービス規模が拡大

●プリ小説のPV・公開小説数の月次推移。

プリ小説^{by}GMO

12月のPV数は3,600万。夏季休暇（8月）の季節要因と同様の水準。



5.業績予想

新規サービスへの投資を継続しながら、増収増益を見込む

単位：百万円	2017	2018	2019 (予想)	前年比成長率	
				2017-2018	2018-2019
売上高	4,377	4,533	4,600	+3.5%	+1.4%
営業利益	371	282	300	▲23.8%	+6.1%
営業利益率	8.5%	6.2%	6.5%	▲2.2pt	+0.2pt
経常利益	368	281	297	▲23.6%	+5.7%
当期純利益	252	197	200	▲21.7%	+1.8%

*増減表示は表示桁数未満を考慮して計算しておりますので、上記の値で計算した場合と差異がございます。

6. 配当予想

基本方針：事業の継続的な成長のための投資を重視しながら、事業の成長に基づく中長期的な株式価値の向上とともに、利益還元として配当を行っていく

	年間配当金	配当金総額	配当性向	純資産配当率
2017年 12月期	73円	126百万円	50.2%	5.3%
2018年 12月期	57円	99百万円	50.2%	4.0%
2019年 12月期 (予想)	58円	-	-	-

配当性向50%以上を基本方針として、業績に連動して配当を実施致します。

7. Appendix



単位：百万円	2017-4Q	2018-1Q	2018-2Q	2018-3Q	2018-4Q	前年同期比	前Q比
売上高	1,127	1,394	1,180	950	1,008	▲ 119	+57
売上原価	756	932	844	628	681	▲ 75	+53
売上総利益	370	461	336	321	326	▲ 43	+4
売上総利益率	32.9%	33.1%	28.5%	33.9%	32.4%	▲ 0.4pt	▲ 1.4pt
販売費及び一般管理費	295	303	298	272	288	▲ 7	+15
営業利益	74	158	37	48	38	▲ 36	▲ 10
営業利益率	6.6%	11.4%	3.2%	5.1%	3.8%	▲ 2.8pt	▲ 1.3pt
経常利益	73	157	36	48	38	▲ 35	▲ 10
当期純利益	51	106	27	34	29	▲ 22	▲ 5

*増減表示は表示桁数未満を考慮して計算しておりますので、上記の値で計算した場合と差異がございます。

貸借対照表



単位：百万円	2017-4Q	2018-1Q	2018-2Q	2018-3Q	2018-4Q	前年同期比	前Q比
流動資産	3,540	3,618	3,599	3,447	3,556	+16	+109
うち現金預金 関係会社預け金含む	2,424	2,373	2,516	2,449	2,522	+97	+72
固定資産	305	325	309	319	289	▲15	▲29
総資産	3,845	3,944	3,909	3,766	3,846	+0	+79
流動負債	1,322	1,455	1,401	1,238	1,308	▲14	+69
うちポイント 引当金	508	517	542	533	538	+29	+4
固定負債	101	85	72	60	50	▲50	▲10
純資産	2,421	2,403	2,435	2,467	2,487	+65	+19
純資産比率	63.0%	60.9%	62.3%	65.5%	64.7%	+1.7pt	▲0.8pt
負債及び純資産	3,845	3,944	3,909	3,766	3,846	+0	+79

*増減表示は表示桁数未満を考慮して計算しておりますので、上記の値で計算した場合と差異がございます。

会社名	GMOメディア株式会社（GMO MEDIA Inc.）
設立年月日	2000年10月13日
資本金	7億6,197万円
事業内容	メディア事業、その他メディア支援事業
従業員数	113名（2018年12月末現在 役員、臨時従業員除く）

40%
その他

営業系、カスタマーサポート、
総務、管理系

職種構成比

10%
デザイナー

50%
エンジニア

多ブランド

出版社が雑誌を発行するように、多ブランドにてサービスを展開

コンテンツプラットフォーム

記者やライターを擁さず、コンテンツを流通させるプラットフォームを構築し、そのプラットフォームへ集客

B2Cメディア(広告)ビジネス

一般消費者に、広告収入をベースに無料でサービスを提供

GMOインターネットグループのメディア事業統合により、業容を拡大

	沿 革	会社名
創業期	2000年10月 イスラエルネットベンチャーと電通グループ・ソフトバンクグループの合併により、東京都中央区に設立	2000年10月 アイウェブ・テクノロジー・ジャパン株式会社
	2001年7月 グローバルメディアオンライン株式会社 （現GMOインターネット株式会社）資本参加	2002年5月 ユーキャストコミュニケーションズ株式会社
	2002年5月 本店の所在地を東京都渋谷区に移転	
GMO インターネット グループ内 再編成	2004年3月 壁紙ドットコム株式会社と統合	2004年3月 GMOモバイル アンドデスクトップ株式会社
	2005年5月 GMOメディアアンドソリューションズ株式会社の メディア事業・EC事業を統合	2005年5月 GMOメディア株式会社
	2008年8月 GMOメディアホールディングス株式会社から 「ヤプログ！」事業を会社分割により承継	
現 在	2009年4月 GMOティーカップ・コミュニケーション株式会社と統合	
	スマートフォン強化による再成長	

ポイントインセンティブによる【ECメディア】と一般ユーザーの情報発信をサポートする【ソーシャルメディア】を軸に、スマートフォン向けネイティブアプリとWEB（スマートフォン・パソコン）向けに多ブランドにて展開しており、ユーザーは無料で利用できます。

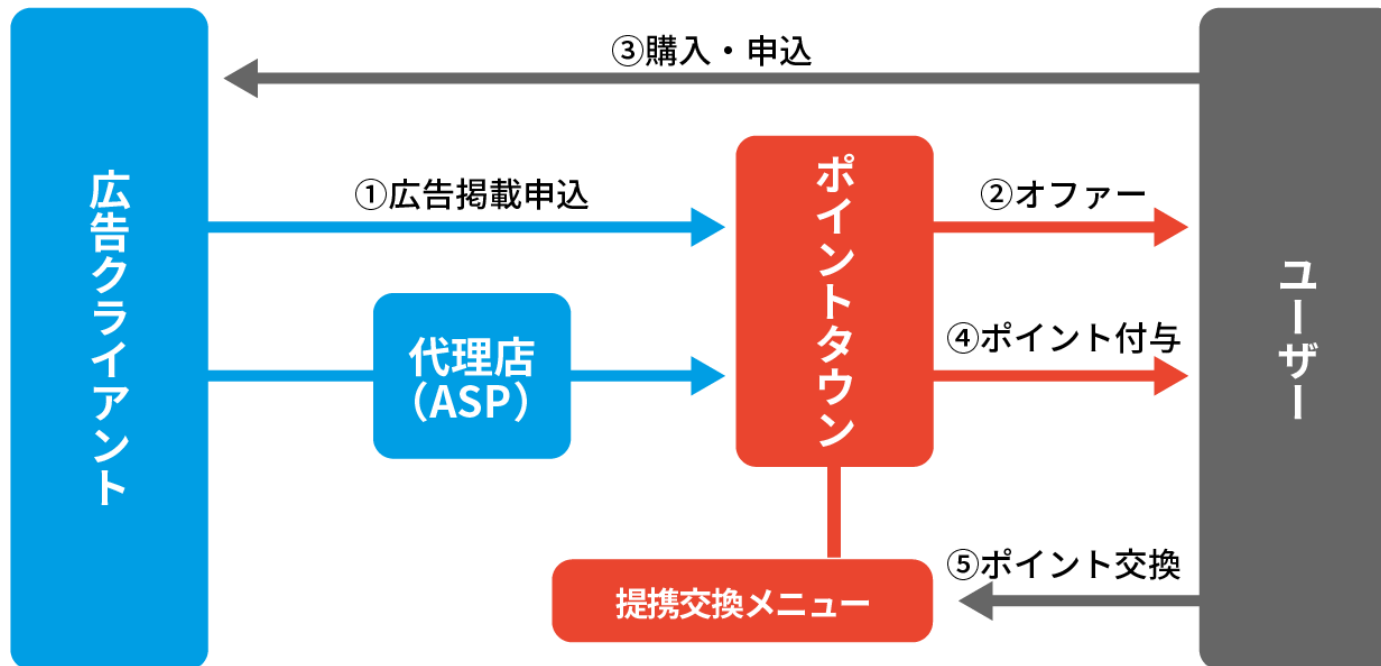
	ECメディア	ソーシャルメディア
  WEB ・ アプリ	 	      

弊社はクライアントとユーザーの間に位置し、広告出稿したいクライアントから代理店（ASP）経由で案件をサイト内に掲載。広告費で頂く報酬の一部をユーザーにポイント還元。その差分を利益とする。

※ASP = (Affiliate Service Provider) とは、成功報酬型広告を配信するサービス・プロバイダの略。

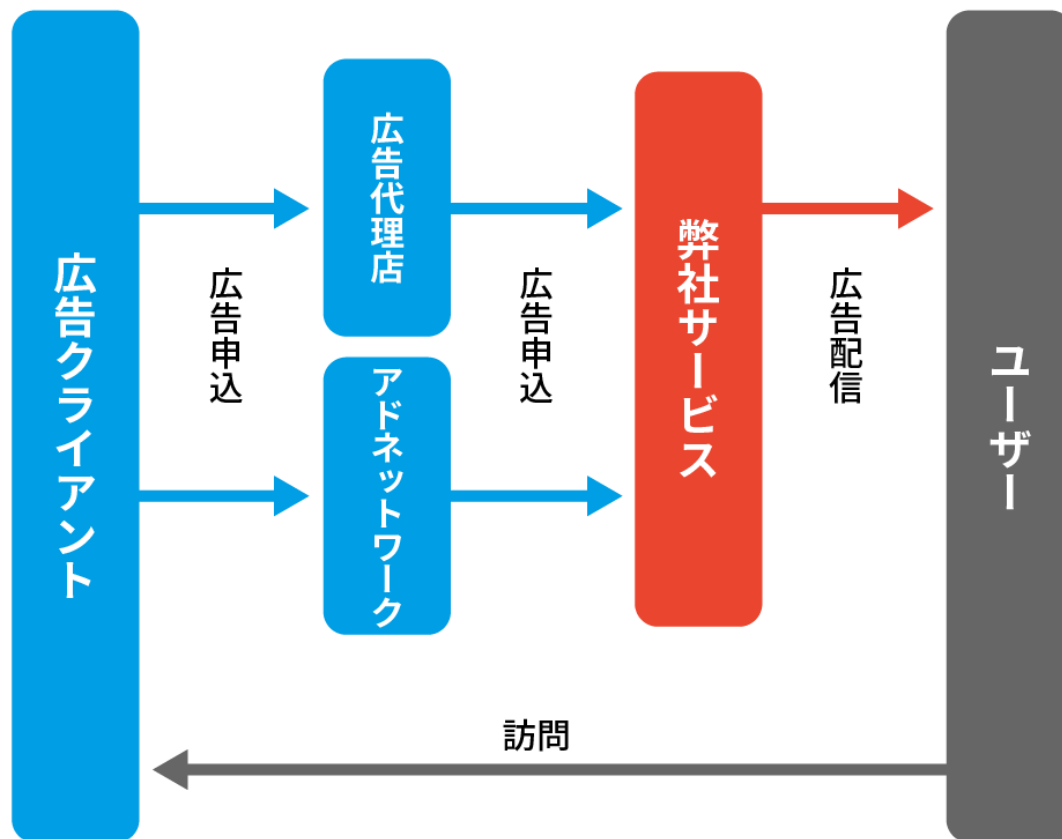
インターネット上で完結できるクライアント全てが対象となり、ECから無料会員登録、クレジットカード発行など豊富な案件を適宜ユーザーに提供しポイントを貯める。

ユーザーはそのポイントを現金及び国内の主要ポイント、マイレージなど様々なメニューに交換できる。



広告収入

弊社サービスの広告枠に、アドネットワーク / 広告代理店からの広告を掲載し、その掲載やクリックに応じた広告収入



GMO MEDIA

本資料には、2019年2月8日現在の将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。世界経済、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや天変地異などの不確定要因により実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。またマーケットシェアなどの数値について一部弊社推計値が含まれており、調査機関によって異なる可能性があります。

本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。また本資料内に記載されている業績予想などの将来の予測に関するものは、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績は経済情勢や市場環境など、さまざまな要因により、かかる予想とは大きく異なることがあることをご承知おきください。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではありません。